


## 和風大便器用施工枠(HG100・101・200・201)施工説明書

商品の機能が十分発揮できるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。

### 安全に関するご注意 (安全のために必ずお守りください)

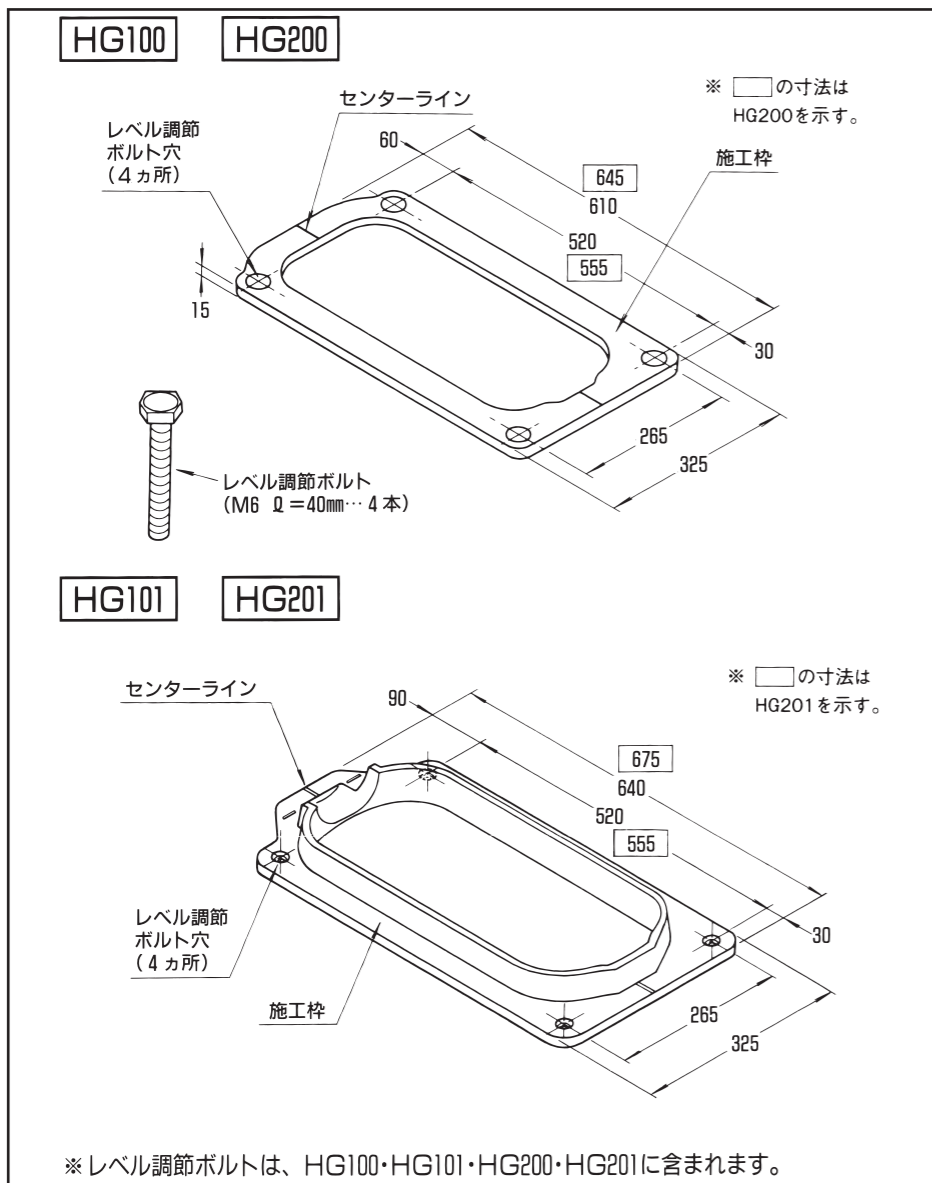
施工の前に、この「安全に関するご注意」をよくお読みのうえ、正しくお取り付けください。  
この説明書では、商品を安全に正しくお取り付けいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

表示	意味
 <b>注意</b>	この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。




お守りいただく事項の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

 してはいけない「禁止」内容です。左図は「禁止」を示します。	 必ず実行していただく「強制」内容です。左図は「必ず実行」を示します。
---	--

### 寸法図



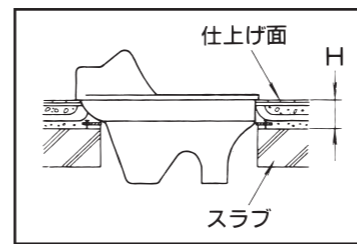
### 注意

-  **禁止** 施工枠はガラス繊維強化セメント製のため、落としたり衝撃を与えない  
ひび割れなど生じると強度が低下し、据付時、大便器の落下の原因になります。
-  **禁止** 雨水に長期間さらされると、強度が低下するので必ず屋内に保管する  
強度が低下し、据付時、大便器の落下の原因になります。
-  **必ず実行** 防水施工の場合は、防水層を大便器リム下まで巻き上げる  
アスファルト巻き(緩衝材)の途中で施工仕上げを行うと床に水をこぼすなどした場合、階下への水漏れの原因になります。

### 使用条件

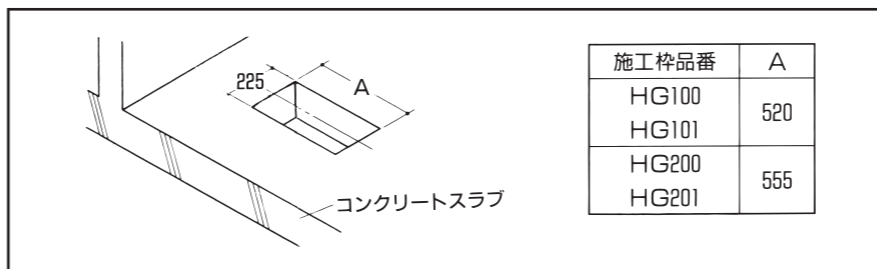
この施工枠が、使用できる和風大便器の品番とスラブ上、床仕上げ厚み範囲は下表のとおりです。

施工枠品番	スラブ上、床仕上げ厚み範囲(H)	使用できる和風大便器品番
HG100	90~120mm	C750V・VF
HG200		C375V・VF
HG101	125~155mm	C750・F
HG201		C750V・VF
		C755V・VF

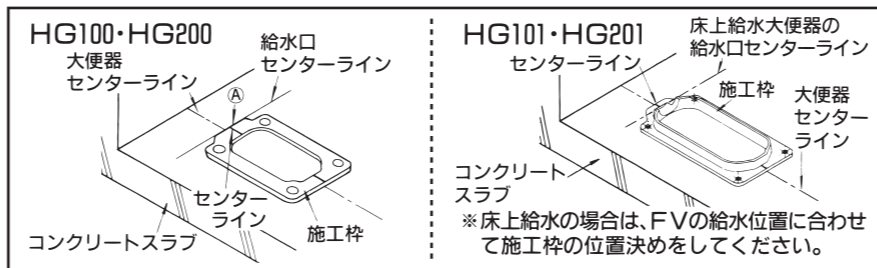


### 取付方法

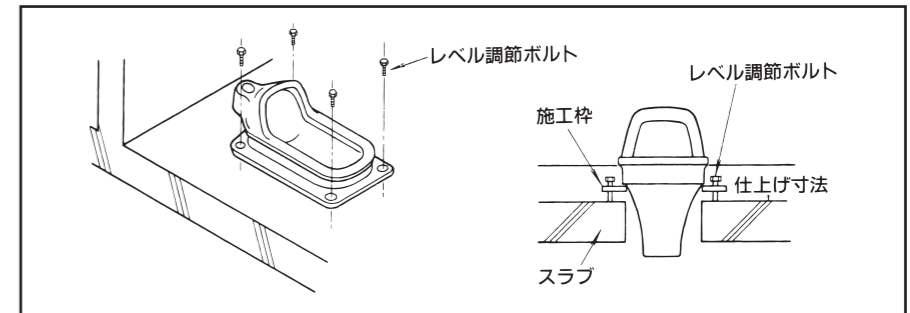
- 大便器を取付けようとする位置にスラブを打つ際、型枠を入れ大便器より小さな角穴を開けておく。



- スラブ上に、大便器のセンター及び給水口センターを墨出しして施工枠を据付ける。  
※据付けるときは、施工枠にセンターラインが刻んである方を上としHG100はA面を、HG101は枠に刻んであるセンターラインを、大便器の給水口センターラインに合わせる。  
※芯合わせを誤ると便器の位置がずれ、便器への給水の接続が困難になる場合があります。

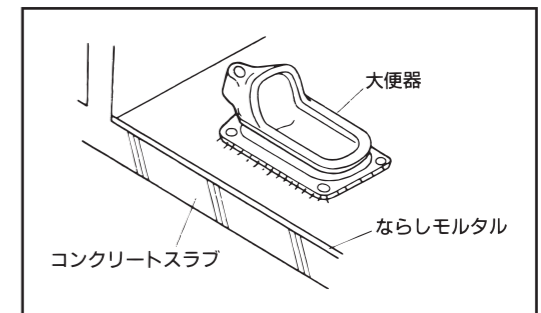


- 大便器を施工枠にはめてから、付属のレベル調節ボルトを施工枠のボルト穴4ヶ所にねじ込み、所定の仕上げ寸法になるように高さレベルを調節する。

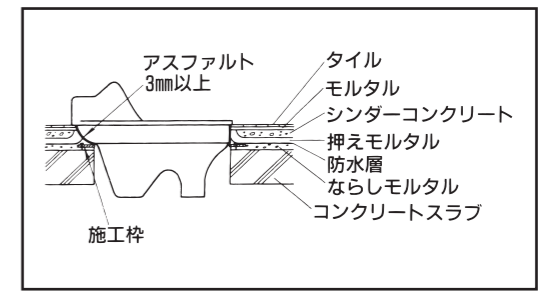


※C750・Fの場合は給水金具セット後、施工枠にはめてください。

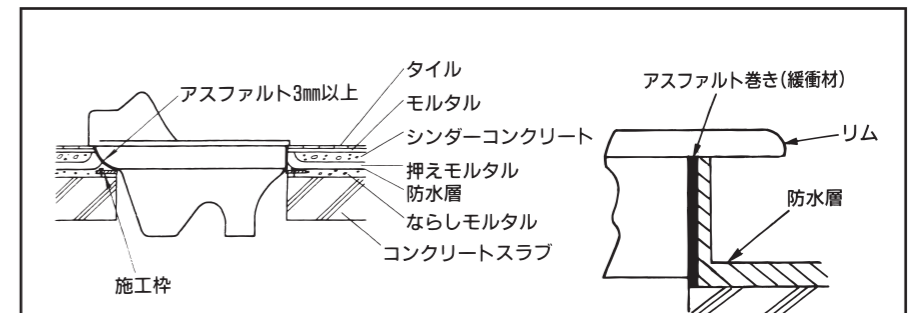
- 施工枠とスラブとの間にモルタルを埋めて、施工枠を固定し、ならしモルタルを打つ。




- 防水施工の場合は、防水層を大便器のリム下まで巻き上げ、大便器のアスファルトに密着させる。  
次に防水層を押えモルタルで押え、シンダーコンクリート打ちをした後、タイルなどで仕上げをする。



- ※仕上げ面が大便器のリム下より上にくる場合は、仕上げ材と大便器が直接接しないように最低3mmのすき間を設け、弾性のある充填材にて埋めてください。
- ※アスファルト巻き(緩衝材)のない部分のスラブの埋め戻しは行わないでください。埋め戻しモルタルの収縮により陶器が破損するおそれがあります。



### 注意

-  **必ず実行** 防水施工の場合は、防水層を大便器リム下まで巻き上げる  
アスファルト巻き(緩衝材)の途中で施工仕上げを行うと床に水をこぼすなどした場合、階下への水漏れの原因になります。